

2023~24年度
第10回 大橋年度幹事団会議議事録

日時: 2024年4月16日16~17時半
場所: ガバナー事務所大会議室
出席者: 大橋、吉崎、中西、田原、古川、前田、
吉川、石田、岡田、河村、一由、北埜、
西村、井上(みどり)、山村(みどり)、
木村(大阪南)
Zoom: 山崎、戸田、森本(大阪北)
欠席: 齊藤、新井、松木、城戸、平澤(ネクスト)、
吉岡(ネクスト)
司会: 吉崎次年度代表幹事予定者

当日はガバナーエレクトが少し遅参されたので、ご挨拶は会議の途中にされた。また、会議の途中で新所員の中村明維さんの御紹介があった。主な会議での報告・協議事項は以下のとおり。

①地区活動グループ

4月20日(土)に控えた地区研修・協議会の役割分担の確認がなされた。当日お手伝いするメンバーには、4月17日(水)のzoom会議、4月18日(木)の東大阪東RCの例会前の打ち合わせ会議のどちらかには参加して欲しいとのこと。

②地区運営チーム

- i. 月信7月号の原稿締め切りは5月末(去年は6月2日)
- ii. 地区HPの構成をロータリアン向けと一般向けと分かりやすいように変えたい。業者は従来の業者を考えている。
- iii. 協賛の件は、誰に頼むのか要検討。野鳥の声は、サントリーさんのHPにあるので、サントリーさんに頼めないか。

③国際大会・地区大会グループ

i. 地区大会の準備状況

●石川Pとの面談報告。報酬について石川Pからは「ロータリーの規程どおりで結構です」と言われている為、紹介者である立野PGにご相談のうえ、地区大会準備委員会で検討する。

●晩餐会の登録料を現在の2万円から25,000円へ増額を検討している。現況は、晩餐会の飲食だけでも2万円を超えており、受益者負担の観点から増額は妥当と考えている。6月の諮問委員会に上程するため、会場であるリーガロイヤルの見積書等の説明資料の準備が必要。

ii. 国際大会大阪ナイト関係

来年のカルガリーの大阪ナイトの会場は、マリオット・カルガリー・ダウンタウンホテルを予定している。

大会が開催されるスタンピークパークまで徒歩15分、電車・車で5分と立地がよい。150名入れる会場であるが120名で申し込み予定。

④地区財務グループ

地区チーム研修セミナーで208千円、PETSで162千円赤字になった。例年、国際会議場で開催しているが修理中のため、初めての会場(シティプラザ大阪)利用となり想定外の会場費が発生した。例えば、当日準備のため早く入った時間の会場利用費やスクリーン2個使用等が超過要因。

⑤その他

現在、ガバナー公式訪問の同行者案作成中。PC操作が可能な人数が少なく苦労しているとのこと。

議事録作成 Dグループ 西村 智子

2024年4月18日(木)新旧合同クラブ協議会



大橋ガバナーエレクト今月の予定
(代表幹事予定者: 吉崎記)

- 5月9日 メディア懇談会(公共イメージ向上委員会)
- 5月11日 IM第6組ロータリーデー
- 5月12日 ロータリー学友会春の総会
- 5月18日 24-25年度のための会員増強セミナー
- 5月19日 ローターアクト年次大会
- 5月20日 5月度幹事団会議、AGE会議
- 5月23日~28日 国際大会(シンガポール)
- 5月30日 大阪城南ロータリークラブ55周年

(ひとこと)

お陰様で3セミナーが無事終わり、ホッと一息と行きたいところですが、7月の本番に向けて色々な締め切りが押し寄せています。あっと言う間に6月になりそうですが、しっかり一つずつ進めていきたいと思っております。7月からの公式訪問ではクラブの皆さんの協力をお願いすることになりますが、引き続きよろしくお祈りいたします。(吉崎)

CLUB WEEKLY No.2804

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー
会長 城戸 総一郎
私たちの行動から希望が生まれる
活力あふれる楽しいクラブを築こう!

青少年奉仕月間 例会日: 2024年5月9日 (令和6年5月9日)

- 今日の例会 2024年5月9日
- 本日の卓話 「ロータリーとの出会いとストレスをためない過ごし方」 迫谷 聡太 君
 - 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」
 - 例会前 創立60周年記念事業打ち合わせ
 - 例会後 5月度定例理事会
- 来週の例会
- 5月16日(木) 卓話 前田 興二 君
 - 例会後 次年度新理事会

会長の時間 城戸会長

皆さん、こんにちは。早や五月を迎えました。GWは如何お過ごしでしたでしょうか? 5月5日「こどもの日」は24節気「立夏」でした。暦の上では夏の始まりとなり、季節の移り変わりの速さに驚くばかりです。山々の木々や街路樹には、柔らかな新芽が顔を出し、キラキラと輝き、美しい季節となりました。「坂村真民一日一言」の中にある「キラキラするもの」という詩が目にとまりましたのでご紹介します。「五月は一年中で一番キラキラする最も佳い季節である。そうした国に生まれながら、全く季節と関係なく過ごす人が多くなった。つまり自然の愛を深く心に浸透させることなく日々を空しく送る人のいかに多いことか。特に感受性に富む少年少女たちが、自然の愛を身につけることなく、乾いた心で育ってゆくを見ると、可哀そうでならない。あらゆるものがキラキラして呼んでいる。その声を聞こう。その姿を見よう。」この詩から「旬」を思い浮かべ旬の食べ物が浮かびました。野菜では夏野菜。キュウリやトマト、ナスにピーマン、トウモロコシ等々。今はハウス栽培も多く、年中出回っているものもありますが、その年の初物を食べると年が若返ると昔から言われます。皆さまは意識されていますか? 地球温暖化により季節にズレが生じ、魚の産地や、野菜の産地での旬の時期に変化が生じて来ています。このままでは何が正常なのか解らなくなるようで心配です。さて、来週は「第45回東大阪ふれあい祭り」が開催されます。ふれあい祭りは私が大学時代に河内永和駅近くにある親戚の店でアルバイトをしていた時に始まりました。当時オープニングゲストで来られた「三田 明」さんと、アルバイト先の店の隣の喫茶店で休憩時間にお話したことを覚えています。回を重ね45回目を迎えました。昨年に続き今年もパレードに参加させていただきます。そして弊社も初めてブースを出します。また、翌週は「よろず相談室」の開催です。今回の相談員は自クラブメンバーによるもので規模を縮小しましたが、限られた予算で最大の効果を発揮できるよう、「一由実行委員長」を中心に皆で頑張ってまいりましょう! 献血への動員も宜しくお祈りいたします。そして25日からは、いよいよシンガポール世界大会です。浅田国際奉仕委員長のお世話により、タイヤンナワRCのスムリット会長始め14名が東大阪東ナイトに参加いただきます。(当クラブから15名)コロナで久しくお会いしていないので再会が楽しみです。私は初めてなので、60周年のインビテーションも兼ねて大いに交流を深めたいと思っています。そして翌夜の大坂ナイトは大橋ガバナーエレクトと一緒に大いに楽しみたいと思います。次年度カルガリーでの大会に向け、しっかりアピールして参りましょう! 親父が当クラブにお世話になっていたころ「RCで『世界大会』があるんや。行ってくるぞ」と毎年参加し、時には母親も参加していました。よっぽど意義があり、楽しかったのでしょうか。私も漸くその気分を味わえる時が来ました。皆さんも一緒に大いに楽しみましょう!

《これからの予定》

- 【1】 本日例会前、創立60周年記念事業打ち合わせ、例会後、5月度定例理事会
- 【2】 5/12(日)東大阪市民ふれあい祭りパレード
ロータリー学友会春の総会
- 【3】 5/14(火)衛星クラブ例会 19:00~
- 【4】 5/16(木)例会後、次年度新理事会
- 【5】 5/18(土)2024-25年度のための地区会員増強セミナー(戸田会長エレクト、芳田次年度会員増強委員長出席)
- 【6】 5/19(日)第16回よろず相談室

《連絡事項》

- 【1】 本日例会後、事務局にて、5月度定例理事会を開催いたします。理事の方はよろしくお願いたします。
- 【2】 5/12(日)は東大阪市民ふれあい祭りパレードです。参加される方は、当日クラブジャンパー又はベスト・帽子をご着用下さい。
- 【3】 5/19(日)は第16回よろず相談室を開催いたします。ご出欠がまだの方はお弁当の準備がありますので至急事務局までお返事をお願いいたします。

米山奨学生 李 知法 さん ようこそ



「初夏のあやめ池」吟行

井戸田 精一

子どもの日、あやめ池を散歩して、初夏の湖畔の様子を俳句にしました。

あやめ池は、昔、奈良ドリームランドという遊園地の跡地にあります。

私も50年ぐらい前に2、3回、名古屋から遊びに来たことがありました。ドリームランドは2006年に閉園し、跡地である遊園地のあやめ池を残し、住宅や小学校、レストランなどに変わり、静かな町になっています。

あやめ池を囲み、残っている樹木は、当時のまま利用されたのか、少し洋風のメタセコイヤやタイムフウ(洋風カエデ)などが大きくなっています。また、池にはたくさんの鯉やメダカ、亀、そして菖蒲や水蓮といった西洋にあこがれた昭和を感じる庭園の趣です。

写真中央は、「黄金マサキ」、後ろの高い樹木は「メタセコイヤ」です。

吟行でできた句を紹介させていただきます。

- 正信 鶯の鳴き交ふ園のボール蹴り
- 侑才 初夏や遠き電車の音消ゆる
- とも子 水蓮の池来い来い集う鯉
- 精一 黄金色湖畔に栄えるまきの花
- 洋子 緑さす樹々にそれぞれの香を放つ
- 太 薫風が頬をくすぐる池の端



心に残るロータリアンの言葉

「ロータリーの本質を見つめて」

1) 変わりゆくロータリーの危機

最近のロータリーの現実、規定審議会ごとに、EASYな方向に流れ、急速に変化しています。私が最も心配することは、ロータリーの哲学、倫理、思想というロータリーの本質が変わって行くのではないかと、という点です。何かロータリーが精神的支柱を失った親睦の集団になってしまうのではないかと危惧します。

2) ロータリー この素晴らしきもの

ロータリーは、「自分の事はあたまわしにして人のために役立つことをしよう」と言う人間の善意が実は、自分の為にもなる、このことを体験的に信じている世界中の人の集まりがロータリーで、奉仕の理想とはこのようなことを指します。ロータリーの素晴らしさはロータリーの例会にあります。20世紀の奇跡といわれたロータリーを21世紀まで引き続いて活動するには、ロータリーの最も重要なユニットである各ロータリー・クラブを充実させる以外にはないのです。各ロータリー・クラブを充実するには、会員一人一人が「ロータリーこの素晴らしきもの」を知り体験することです。

3) ロータリーの本質をみつめて

イ)ロータリーの本質は、親睦の中から自己を研鑽し、奉仕の心を高めることにあります。

ロ)ロータリーの奉仕は、「利己と他利の調和」を目指すものです。クラブの例会を通じて親睦を出発点とし、奉仕の心を養い、一人一人がそれを各方面に実践することが大切です。

ハ)例会に出席し、自己を改善し事業経営に役立てることが大切です。

4) ロータリーの進展とその特性

RIは「ロータリーの真の姿」とは何かについてESと発表しています。

E: ENJOY-職業の異なる会員が信頼感をもって心から楽しみ、親睦を深め、友情を温め、喜びを通じ合って成長して行く。

S: STUDY-ロータリーから人生哲学、職業倫理を学び、多くの会員の人生観から学び、自己研鑽に励んで人間性を高める。

S: S ERVI CE-思いやりの心で人のお役に立つ行動をという、ロータリーの奉仕をごく自然に自分の生活の中に生かすことで、世の為、人の為に尽す。

これがロータリーの真の姿なのです。

戸田孝 2660地区PDG 2001年関西ロータリー研究会にて

(4/25)の出席者数:23名(0)
(5/2)休会

4/25 出席率:53.49%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:53名(免除10名)

	4/4	4/11	4/18
HC出席	27(0)名	26(0)名	24(0)名
MU出席	1(0)名	3(0)名	4(0)名
修正出席率	65.12%	67.44%	65.12%

四つのテスト

真実か どうか
みんなに 公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

